

中間試験を挟んで、2週間ぶりの課題研究でした。その試験最終日の午後に行われたオープンスクールについて。中学生5名に対し、夏休みに行ったものと同内容の体験学習を行いました。操作手順の見直し、マスク越しの声が聴きづらいので簡易拡声器の使用といった、前回の反省を反映して実施しました。



当日は中学生4名が参加してくれました。



前回の反省を踏まえ、マイクとスピーカを使用しました。

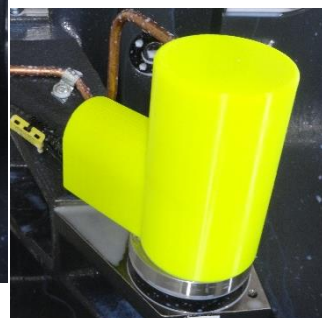
本日の内容としまして、6月にメーカーの方による調整を行っていただきましたが、その際にウォームアップ運転時に「タッチプローブ(工具測定センサ)にクーラントがかかるのを対策してほしい」と言われました。そこで2種類のカバーを3DCADと3Dプリンタで作成しました。両方試し、大きい方を採用しました。機械科実習棟の設備が充実しているので、必要なものの大半は自分たちで作ることができます。



大量のクーラントがプローブに降り注ぎます。

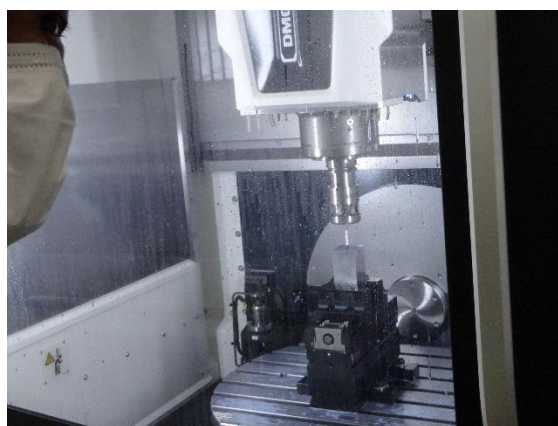


カバー装着前



カバー装着後

進めている機械操作のマニュアル化につきまして。細部を詰めていくと曖昧な点がでてきました。再度レクチャーを受け、内容を確実なものにしています。授業は残り8回、効率的に進めていきます。



材料の測定。3項目をセンサーで1/1000mm単位で測定。



物理スイッチか、タッチパネルか。区別して記述する必要があります。